

日本藻類学会（入会申込・住所変更届）（○で囲んで下さい）

（コピーしてお使い下さい）

199 年度より入会 19 年 月 日 申込み

氏 名 \_\_\_\_\_

★ Name \_\_\_\_\_  
(Family name) (Given name)

所 属 機 関 名 \_\_\_\_\_

★ Institution \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

★ Institutional Address \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

自 宅 住 所 〒 \_\_\_\_\_

★ Address \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

★の項目は英語またはローマ字で必ずご記入ください。英文誌の送付に必要です。

以下の欄にチェックして下さい

会員の種類： 普通会員 7,000円  学生会員 5,000円（学生会員の場合、指導教官の署名が必要です）

指導教官の署名： \_\_\_\_\_

会費納入方法： 同封  郵便振替（できるだけ郵便振替をご利用下さい）

会誌の送り先  所属機関（勤務先）  自宅

入会申込書・住所変更届 送付先：〒 690-8504 鳥根県松江市西川津町 1060  
鳥根大学教育学部生物  
大谷修司 TEL 0852-32-6306（FAX 兼用）  
e-mail: ohtanish@edu.shimane-u.ac.jp  
会費払込先：郵便振替 口座番号 01320-4-48748 加入者名：日本藻類学会

学会事務局 使用欄	受付	名簿	発送リスト	入金確認	学会録事
--------------	----	----	-------	------	------

---

 賛助会員
 

---

北海道栽培漁業振興公社 (060 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 北海道第二水産ビル 4 階)

阿寒観光汽船 株式会社 (085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)

株式会社 シロク商会 (260 千葉市春日 1-12-9-103)

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108 東京都港区高輪 2-16-5)

有限会社 浜野顕微鏡 (113 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (189 東京都国立市谷保 1769)

神協産業 株式会社 (742-15 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品 株式会社 (985 宮城県多賀城市宮内 2 丁目 5 番 60 号)

株式会社 白寿生科学研究所 (351 朝霞市栄町 3-3-7)

三洋テクノマリン株式会社 (103 東京都中央区日本橋堀留町 1 丁目 3-17)

マイクロアルジェコーポレーション (MAC) (104 東京都中央区銀座 2-6-5)

(有) 裕千堂葛西 (青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38-10)

---

今秋刊行予定

バイオダイバーシティ・シリーズ

## 第3巻 藻類の多様性と系統

[責任編集] 千原光雄 [企画・編集 補助] 井上 勲・川井浩史・堀口健雄

第 I 部 藻類の多様性と分類体系 [千原光雄] 藻類の多様性/藻類多様性研究の歴史 第 II 部 さまざまな形質からみた藻類の多様性と系統 分子系統学/葉緑体/光合成色素/鞭毛と鞭毛装置/有性生殖/光運動反応/概日時計/細胞内共生による葉緑体の獲得と藻類の多様化 第 III 部 藻類の門ごとにみる多様性の生物学 藍色植物門/原核緑色植物門/灰色植物門/紅色植物門/クリプト植物門/不等毛植物門 (黄金色藻綱・ラフィド藻綱・珪藻綱・褐藻綱・黄緑藻綱・真眼点藻綱)/ハプト植物門/渦鞭毛植物門/ユーグレナ植物門/クロララクニオン植物門/緑色植物門 (ブラシノ藻綱・緑藻綱・トレボウクシア藻綱・アオサ藻綱・シヤジクモ藻綱) コラム17編/分類形質一覧表/分類表 [第 II・III 部執筆 50 音順: 石田健一郎・井上 勲・内田英伸・神谷充伸・河地正伸・近藤孝男・洲崎敏伸・高村典子・中山剛・野崎久義・原 慶明・堀 輝三・堀口健雄・真山茂樹・峯 一朗・三室 守・宮下英明・本村泰三・吉崎 誠・若菜 勇・渡邊 信・渡辺 信)

ポピュラー・サイエンス シリーズ

7 月刊行予定

## 磯焼けを海中林へ — 岩礁生態系の世界 —

東北大学教授 谷口和也 著 四六判 予180頁 (口絵 4 頁) 予価1600円

1 章 磯焼けとは何か 2 章 磯焼けはどのように発生するのか 3 章 磯焼けはどのように持続するのか 4 章 海中林はどのように回復するのか 5 章 海中林はどのように維持されるのか 6 章 磯焼けは克服できるのか—磯焼けの海を豊かな海中林に—

〒102-0081 東京都千代田区四番町8-1 装華房 TEL 03-3262-9166 FAX 03-3262-9130

ホームページ <http://www.02.so-net.ne.jp/~shokabo/>

多彩な執筆陣による多角的な構成！  
生態から利用までを網羅した、初の海藻読本！

緑 水産学叢書  
第2弾！

# 21世紀の海藻資源

—生態機構と利用の可能性—

大野正夫 編著

●A 5判 280頁 ●定価：本体3,689円(税別)

「豊かな海」の立役者であるばかりでなく、次世代の素材として、いま産業界の最も熱い注目を集める海藻資源。健康、環境への関心の高まる中、「海藻についての一般書を」との声に応え、遂に初の海藻読本が登場！

生態、環境、健康、化学、工学、医療等の研究者が最新研究成果を分かりやすく解説。今まであまり光の当たらなかった多方面にわたる海藻の利用法を探る。海藻生産者、漁場造成・水圏環境保全関係者、応用化学・食品メーカー必読の書！



## 内容

藻場(寺脇利信)／流れ藻と寄り藻(新井章吾)／磯焼け(藤田大介)／国際化する海藻資源(大野正夫)／海藻と健康・栄養(辻 啓介)／伝統的食品の寒天と新しい素材のカラギナン(平瀬 進・大野正夫)／海藻パルプとアルギン酸繊維の“紙”(小林良生)／カンキツ類の生産と海藻資源(白石雅也)／飼料に利用される海藻(中川平介)／磯の香りと性フェロモン(梶原忠彦)／海藻から抽出されるレクチン—細胞を見分けるたんぱく質—(堀 貫治)／海藻から抗酸化性物質の生産(浪岡日左雄・松家伸吾)／海藻から抗菌性成分の探索(越智雅光)／海藻からの抗癌活性物質(山本一郎・丸山弘子)

## 図鑑 海藻の生態と藻礁

徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗 編

●B 5判 198頁 ●定価：本体14,369円(税別)

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

英文版も  
完成！

—A Photographic Guide—  
Seaweeds of Japan

●定価：本体14,563円(税別)

## 海藻資源養殖学

徳田 廣・大野正夫・小河久朗 編

●B 5判 354頁 ●定価：本体5,505円(税別)

海藻の資源や養殖から、藻場造成、利用法、海外での養殖等に至るまで、実に幅広い観点から初めて総括的に海藻を論じた、研究者・学生・養殖業者待望の書!!

## 内容

地球生態系と海藻／海藻の生育環境／海藻の利用／世界の海藻資源と生産量／現在の海藻養殖／藻場造成／海外の海藻養殖の現状／海藻養殖の将来と展望／むすび

■消費税は別途加算されます。

緑書房

〒171 東京都豊島区池袋2-14-4 池袋西口スカイビル8F  
TEL 03(3590)4441(販売部) FAX 03(3590)4446

6月刊行  
好評発売中

「日本海藻誌」以来60余年ぶりの大著、遂に刊行成る！

# 新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。

編集にあたっては、各種類の学名を原典にさかのぼって検討し、国際植物命名規約に厳密に従って命名法上の正確さを期し、関連する文献を詳しく引用。また、命名規約に基づいて、多くの種のタイプ標本を確定し、その所在を明らかにするとともに、北海道大学、国立科学博物館などに所蔵されているタイプ標本の写真を多数掲載した。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

第2期10巻、全20巻完結！

## 淡水藻類写真集

1巻  
～20巻

山岸 高旺・秋山 優 編集

各巻 B5判・216頁・100シート

1・2巻4000円、3～10巻5000円、11～20巻7000円

1種1シートを原則に、藻体像の顕微鏡写真・部分拡大写真に、走査型顕微鏡写真・線画き詳細図を添えて、分類学的形質が一目でわかるように構成する。解説はすべて和英両文。種名と文献、藻体の性状と寸法、成育状況、細胞の構造、生殖法、生活史、生態分布、類似種との比較等を併記。

近刊

## 淡水藻類写真集ガイドブック

山岸高旺 著

多種多様な淡水藻類の全容を、「淡水藻類写真集」をもとに簡潔かつ利用しやすい形にまとめる。

## 藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p (185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p (171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p (146種) 7000円

## 藻類多様性の生物学

千原光雄 編著

B5・400p・9000円

藻類の今を見渡し、理解するための最適の書。斯界の第一人者により、藻学および周辺領域の膨大な知識の蓄積が整理され、新しい研究成果も取り入れられている。藻学を学ぶ方、またこの分野に興味のある方の新たなスタンダード。

## 陸上植物の起源

渡邊 信 共訳

堀 輝三

— 緑藻から緑色植物へ —

A5・376p・4800円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって陸上に進出したのか——。分子生物学、生化学、発生学、形態学などの成果にもとづく探求の書。海藻のような海産藻類からでなく、淡水域に生息した緑藻、特にシャジクモ類から派生したという推論をたて、陸上植物の出現した約五億年前の地球環境、DNAの構造、シャジクモ類の形態・生態・生理などを総合的に考察する。

## 日本の赤潮生物

福代・高野 共編

千原・松岡

— 写真と解説 —

B5・430p・13000円

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を収録。赤潮生物の分類・同定に有効な一冊。

## 原生生物の世界

丸山 晃 著

丸山雪江 絵

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な世界を緻密な点描画とともに一卷に収めた類例のない書。

## 日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最高度に発揮さす為、に図版は必ず左頁に、図版の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明とが同時にみられるように工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

## 藻類の生態

秋山・有賀

坂本・横浜 共編

A5・640p・12800円

## 日本海藻誌

岡村金太郎 著 B5・1000p・30000円

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3

TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴圃

---

## 学 会 出 版 物

---

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号 (創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。  
「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補. 1977. A5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B5 版. xiv+280 頁, 6 図版. 昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1998 年 7 月 5 日印刷

1998 年 7 月 10 日発行

© 1998 Japanese Society of Phycology  
日 本 藻 類 学 会

禁 転 載  
不 許 複 製

Printed by Hokudai Insatsu

編集兼発行者

堀 口 健 雄

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目  
北海道大学大学院理学研究科  
Tel. 011-706-2738  
Fax. 011-746-1512  
email. horig@bio.hokudai.ac.jp

印刷所

北 大 印 刷

〒060-0810 札幌市北区北 8 条西 7 丁目  
Tel. 011-747-8886  
Fax. 011-747-8807

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1  
東京学芸大学生物学教室内  
Tel. 0423-29-7524 (Fax 兼用)

## 藻類

## The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第46巻 第2号 1998年7月10日

## 目次

秋季シンポジウム案内および日本藻類学会第23回大会(山形)案内	
林田文郎: 駿河湾におけるホンダワラ類の植生について	97
坂西芳彦・飯泉 仁: 褐藻ナガコンブの光合成-温度特性について	105
研究技術紹介	
峯 一郎: 海藻類観察のための超薄切片作製技術の基礎	111
藻類採集地案内	
佐藤輝夫: 北海道日高支庁・静内町海岸	119
藤田大介: 水産試験場研究報告の藻類関係論文リストII(1996-1997年, 一部に過年度追加分を含む)	123
海外藻類事情	
安井 肇: タイ国沿岸の海産藻類事情	125
大野正夫: フィリピン・セブ島で開かれた第16回国際海藻シンポジウム(1998年4月12-17日)	129
平岡雅規: 国際海藻シンポジウムに参加して	132
日本藻類学会第22回大会開催記・エクスカージョン参加記・ワークショップ参加記	
横浜康継: 第22回(下田)大会を楽しむ	133
須之内千代: 日本藻類学会第22回大会参加記	135
宮本奈保: 日本藻類学会第22回大会エクスカージョン参加記(1998年3月27日~3月29日)	137
馬場将輔: 日本藻類学会第22回大会エクスカージョン(海中林観察)参加記	139
原 朋之: ワークショップ参加記	141
学会・シンポジウム情報	143
英文誌 Phycological Research 46巻1号掲載論文和文要旨	145
学会録事	148
日本藻類学会会則	156
投稿案内	157